



復興庁

Reconstruction Agency

復興・創生 その先へ

記者発表資料

令和7年12月12日

復興庁

住民意向調査速報版（富岡町）の公表について

原発事故による避難者等に対する住民意向調査について、富岡町の住民を対象とした調査結果を取りまとめました。

1. 調査概要

富岡町

調査主体	復興庁、福島県、富岡町
調査対象	世帯の代表者（5,651世帯）
実施期間	令和7年9月16日～9月30日
回答者数	2,061世帯（回収率36.5%）

2. 調査結果のポイント

別紙のとおり

本件連絡先

(制度班) 担当：高藤、松岡

電話：03-6328-0250（直通）

富岡町調査結果のポイント

- 将来の帰還意向やその判断の前提となる情報、帰還した場合に行政に望む支援等の把握を目的に実施。
- 復興庁、福島県、富岡町の共同調査は14回目。

(1) 帰還の意向

既に富岡町で生活している	12.5% (11.5%)
戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）	7.4% (7.9%)
戻りたいが、戻ることができない	14.4% (17.2%)
まだ判断がつかない	12.7% (12.1%)
戻らないと決めている	51.2% (49.8%)

※(カッコ)書きは、それぞれ前回調査(R6.9)結果

(2) 帰還を判断するために必要なこと（上位抜粋）

医療機関（診療科）の拡充	58.8% (57.8%)
商業施設の充実	50.0% (48.3%)
介護・福祉施設の充実	41.2% (38.4%)
どの程度の住民が戻るかの状況	25.6% (30.0%)
防犯・防火対策の強化	24.4% (24.0%)

※帰還の意向で「まだ判断がつかない」と回答した世帯のみ回答

(3) 戻らないと決めている理由（上位抜粋）

すでに生活基盤ができているから	67.1% (65.6%)
避難先の方が、生活利便性が高いから	39.9% (39.1%)
医療環境に不安があるから	29.3% (29.8%)
生活に必要な商業施設などが不足しているから	21.7% (23.2%)
高齢者・要介護者のいる世帯なので生活が不安だから	16.4% (18.4%)

※帰還の意向で「戻らないと決めている」と回答した世帯のみ回答